

阿南市文化財講座

第8回

阿南市の地質とその意義

筑波大学名誉教授
小笠原 憲四郎さん

日本列島とプレート運動

地球の表面は、プレートと呼ばれる固い岩盤で覆われている。日本列島は、複数のプレートが交わる場所であり、それぞれ陸地が別方向に引っ張られている。主なプレートとして、太平洋プレートとフィリピン海プレートがあり、太平洋プレートは西に、フィリピン海プレートは北へ動いている。ハワイは年間10センチほど日本に接近しているが、これはプレートの運動によるものである。日本列島は、プレートの運動により、3千万年前頃に大陸から分離した。その後、西日本と東日本がそれぞれ移動し、現在の形を形成するに至った。日本列島には、数多くの構造体(断層)が存在しているが、中には大陸であった頃の名残を残すものも少なくない。

阿南市の地質

プレートには、海洋プレートと大陸プレートの2種類があり、海溝で海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込んでいる。その際、海洋プレートの上にある堆積物が剥ぎ取られ、大陸側に付着することがある。この付着物を、付加体と呼ぶが、阿南市の地層の全てが、付加体の堆積物と言っても過言ではない。

阿南市を構成する地層にはいくつかの種類があり、秩父帯や黒瀬川構造体、四万十帯などが知られている。その内、黒瀬川構造体は日本列島の土台になるような地層で、上大野町の城山では、約4億年前に形成された花崗岩を見ることが出来る。加茂町、太龍寺山はかつて石灰岩の採石場であった。太龍寺山は、秩父帯に属しており、オリストリスという、他の地層の中に別の岩石が取り込まれている状態を見ることが出来る。太龍寺山の石灰岩は、一つの巨大な岩石の塊で、泥の中に岩石が転がり落ちた形で存在している。そのほか、阿南市の海岸線沿いでは、秩父帯や四万十帯の地層が露出



伊島の前島海岸
四万十帯を代表する砂岩と泥岩の互層

している場所がいくつもある。中林町、巖石海岸の南西は、秩父帯南帯の最東端部に当たり、砂岩と泥岩が交互に重なっているのが確認できる。椿泊町から浦生田、伊島にかけては四万十帯の地層が露出しており、深い海底で堆積した岩石のさまざまな特徴を見ることが出来る。

終わりに

秩父帯や四万十帯の特徴、さらに勝浦盆地や羽ノ浦丘陵の地層から、阿南市の地層は海の中で形成され、その大部分が付加体であることが分かる。また、市内の地中を掘ったボーリング資料から、地下の多くは砂礫であることが分かっており、比較的安定した地盤といえる。

学問の世界はすべてが温故知新。過去を知らずして未来を予測することは不可能である。阿南市の地質は、日本列島形成を考えるうえで、大変貴重な過去の資料となっている。



あなんカルチャー

「民謡魂 ふるさとの唄」公開収録 観覧者募集

伝統的な民謡に加え、ふるさとの唄や郷土芸能などで日本の伝統音楽を再発見する番組です。観覧を希望される方は、次の要領でお申し込みください。くわしくは、NHK徳島放送局ホームページをご覧ください。入場は無料です。



日程 5月10日(日)
18:30~20:00 (開場17:30) ※時間は予定
場所 市民会館
出演者 未定 (唄・三味線・尺八・鳴物など)
司会 城島 茂 (TOKIO)
観覧方法

郵便往復はがき(私製を除く)に以下のとおり記入して、お申し込みください。

【往信用裏面】①郵便番号②住所③名前④電話番号
【返信用表面】①郵便番号②住所③名前

あて先 〒770-8544
NHK徳島放送局「民謡魂 ふるさとの唄」係
申込締切日 4月20日(月) ※必着

※応募多数の場合は抽選となります。抽選結果は、4月28日(火)頃に返信用はがきでお知らせします。入場整理券は、1枚で2人まで入場が可能です。※未就学児の観覧をご遠慮ください。

※記入に不備があった場合、郵便往復はがき以外での応募、締め切り後の到着分は無効となります。※「返信用裏面」には抽選結果を印刷しますので、白紙のままお送りください。

※インターネットオークションなどでの転売を目的とした申込みは固くお断りします。売買を目的とした申込みであることが判明した場合は、抽選対象外とします。

※ご応募の際にいただいた個人情報は、抽選結果のご連絡に使用させていただきます。なお、NHKでは受信料のお願いや、番組・イベント案内に使わせていただくことがあります。

放送予定 未定 (NHK総合テレビ)
問い合わせは NHK徳島放送局 (☎088-626-5970) ※受付時間9:30~18:00 (土・日・祝日を除く) または、文化振興課 (☎22-1798) へ

北條民雄文学特別展

北條民雄と川端康成との往復書簡による魂のやりとりをパネルで紹介いたします。

日時 3月1日(日)~14日(土)
9:00~17:00
※水曜日は休館

場所 文化会館2階 研修室

入場料 無料

問い合わせは
文化会館 (☎21-0808) へ



明治大学マンドリン倶楽部演奏会

懐かしく、親しみやすい音色のマンドリンで奏でるクラシックからポップス。明大マンドリン倶楽部の演奏会を存分にお楽しみください。

日時 3月5日(休) 18:30~ (開場18:00)
場所 コスモホール (情報文化センター)

ゲスト 日野美歌

入場料 全席自由
1枚 2,500円
2枚セット 4,500円
3枚セット 6,000円
※当日500円増し



問い合わせは
情報文化センター
(☎44-5000) へ

邦楽への招待

~和楽器に親しもう~

箏・尺八・太鼓 あななんと一緒に和楽器にチャレンジ!
今年は15周年記念として開催します。13:00から、研修室で和楽器体験ができます。フィナーレは、全員で舞台にあがって和楽器を楽しみましょう。

日程 3月1日(日)
13:00~ 2階研修室で和楽器体験
14:00~ ホールで演奏会開演

場所 コスモホール (情報文化センター)

ゲスト 山上明山、内田道子、山上朋代

出演者 阿南中学校箏曲部、新野中学校箏曲部、岩脇小学校金管バンド、琴古流徳島支部、混声合唱団「ベルゲンブリュウダー」、箏曲古都和会、竹保流尺八徳島支部、徳島邦楽集団、都山流徳島県支部、羽ノ浦小学校箏クラブ、羽ノ浦和太鼓グループ「どんど鼓」、雅伎会

演奏曲 春の海、レットイットゴー、三谷菅垣、千鳥の曲、涙そうそう、ハナミズキ、村祭り、子どもぼやし ほか

入場料 無料
問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

科学センター友の会会員募集

平成27年度「科学センター友の会」会員を募集します。

入会すると、毎月1回、会員向けの自然観察、科学工作や科学実験などに参加できるほか、夏と秋にはジャガイモやサツマイモの収穫など、会員ならではの活動にも参加できます。

また、特典として、毎週土曜日に行われている夜間の天体観望会が無料になります。

年会費 個人会員 2000円
家族会員 3000円

入会方法 科学センターにある入会申込書に必要事項を記入し、会費を添えてお申し込みください。

問い合わせは 科学センター
(☎42-1600) へ
3月の休館日
2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)、30日(月)



科学センター

ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>